



【先週 11月10日～11月16日の外食の出来事】

■コロナイド、上半期(2019年4月～9月)の連結業績 減収減益

2020年3月期 第2四半期の連結業績は営業収益1200億7000万円(対前年同期比0.9%減)、税引前四半期利益19億9600万円(同36.9%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益1億1400万円(同85.1%減)。

■木曽路、上半期(2019年4月～9月)の業績 増収赤字

2020年3月期 第2四半期(2019年4月～9月)の業績を発表。売上高200億7400万円(対前年同期比1.0%増)、営業損失4億7600万円(一)、経常損失4億5400万円(一)、四半期純損失4億2600万円(一)であった。

■チムニー、東京下町の焼肉チェーンを買収 焼肉業態も展開スタート

海鮮居酒屋「はなの舞」などを展開するチムニーが、東京関東圏を中心に焼肉店「牛星(ぎゅうせい)」10店舗、居酒屋1店舗を展開する株式会社シーズライフ(本社：東京都渋谷区、代表取締役：江口友幸)を完全子会社化する。

■スシローGHD、25%増益 前期、高単価商品が好調

2019年9月期の連結決算は、純利益が前の期比25%増の99億円だった。サイドメニューの拡充などで客単価、客数ともプラス。既存店売上高が増えて人件費の上昇を吸収した。売上収益は14%増の1990億円だった。

■モスフードサービスの19年4～9月期、最終損益4億200万円の黒字

2019年4～9月期の連結決算は、最終損益が4億200万円の黒字に転換した。売上高は前年同期比1.4%増の342億円、経常利益は前年同期比4.8%減の9億7600万円、営業利益は前年同期比4.1%減の9億円だった。

■マクドナルドの1～9月期、純利益35%減 販管費など重荷

2019年1～9月期の連結決算は、純利益が前年同期比35%減の133億円だった。既存店売上高のプラスが続くなど売り上げは好調だったが、販管費や売上原価などのコストがかさみ採算が悪化した。

■フジオフード、第3四半期(2019年1月～9月)の連結業績 増収も減益

2019年12月期 第3四半期の連結業績は売上高287億4800万円(対前年同期比7.6%増)、営業利益13億1800万円(同23.4%減)、経常利益13億1600万円(同21.7%減)、四半期純利益5億4300万円(同34.3%減)。

■鳥貴族10月、全店で8%減 失敗できない社長販促で挽回狙う

10月実績では、新店舗も含めた全店で売上高8.3%減。既存店では、客数4.9%減、客単価0.5%減で、売上高5.4%減となった。新規出店をストップしているため、1年未満店舗の売上も思わしくなく、全店ではさらに悪化した。

■元気寿司、上半期(2019年4月～9月)の連結業績 増収減益

2020年3月期 第2四半期の連結業績は売上高223億6300万円(対前年同期比6.0%増)、営業利益12億6700万円(同13.1%減)、経常利益12億7100万円(同12.2%減)、四半期純利益8億3700万円(同26.1%減)。